

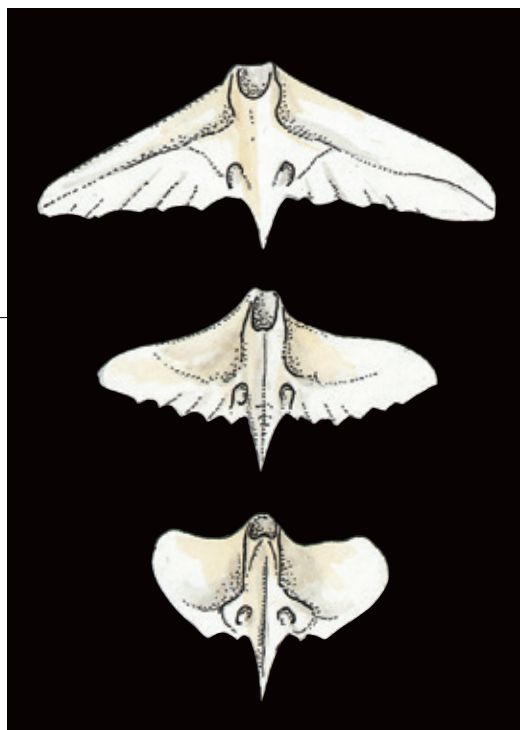
ひらきのホネ

もりぐち みつる
盛口 満
沖縄大学学長
通称、
ゲッチョ先生

アジのひらきを見たことあるかな。
食べたことのある人も多いよね。
アジのひらきには骨^{ほね}があります。
ポイツ……と捨^すててしまう前に、
そのアジのひらきの骨^{ほね}を見てみましょう。
どこにどんな骨^{ほね}があるかな。
気にしてみると、ある、ある。
いろんな骨^{ほね}が見つかります。

アジの仲間には、「ぜいご」と
呼ばれる独特^{どくとく}のウロコがある。

×5



マアジのひらき



食べて始まる食卓のホネ探検
ゲッチョ先生のホネコレクション
盛口 満：文・絵 少年写真新聞社：発行
B5判64ページ 1800円+税

“ごちそうさま”のあとに、食べ終えた肉や魚のホネをていねいに集めてつなげてみると、食べ物となった動物の姿が見えてきます。食べるということが、ほかの生きもののいのちをいただいていることに気づきます。

アジのひらきの^{ほね}骨

じせき^{ほね} 耳石

頭の骨の中にあるかたい石。
体の中でバランスをとる働き
をしている。右と左で合計2
個ある。



×5



×2

せほね^{ほね} 背骨



むな
胸びれのつけ根の骨は、
魚の形に似ている。タイ
のものが有名で、こ
の部分を「タイのタイ」
と呼んだりする。

えらぶたの^{ほね} 骨

はら^{ほね} 腹びれ



あごの^{ほね} 骨

よくよく見ると、小さな
歯がはえている。あご
や歯の形も魚によって
いろいろ。

目玉の^{ほね} 骨

魚の目玉のまわりに
ごくうすい骨がある。



少年写真新聞社発行の「ゲッチョ先生の自然誌コレクション」シリーズ『食べて始まる食卓のホネ探検』から一部を転載して、ご紹介しています。このページの教育用コピー配布もご了解いただいていますので（商用利用不可）、自然観察にご活用ください！